

スタート助成金

9 ふれ愛サロン



収穫しておみやげに！

鹿嶋市



サロン運営団体名称

特定非営利活動法人 かたつむり工房

サロン開設年月日	平成 16 年 4 月		
開催日及び開催頻度	月 4 回 月曜日（午前 11：00 ～午後 2：30）		
開催拠点	福祉楽農園 かたつむり工房 遊百話コテージ		
代表者氏名	平井 恵美子		
1 回の参加人数	平均 10 人	1 回の運営スタッフ数	平均 4 人
参加費（1 人 1 回あたり）	200 円		



100 坪の沿道花壇も花いっぱい！



地域の花壇も花いっぱい！

目的（趣旨）

- 通所の障害者と支援者が交流し、コミュニケーション能力を高め、お互いに理解し合う
- 地区の高齢者と障害者が共に活動し、技能を高め理解し助け合い、生きがいを持てる
- 地区の方々にサロンを知り理解してもらう

生活課題への対応

- 引きこもりがちな障害者が、仲間づくりでストレスを解消し、就労への意欲を持てる
- 長年培った農業や調理技術を持つ高齢者が、障害者に技能を教え、高齢者も障害者もお互いに理解し、生きがいを持てる
- ひとり暮らしの高齢者や障害者の食生活の改善ができる

継続性

- 障害者自身がサロンの内容を決め、責任を持って当番にあたる
- 季節の収穫物を生かしたメニューや作業の変化への工夫が必要であるため、適性を生かし適材適所で能力を発揮できる仕組みをつくる

財源の確保

- 法人負担
- 農作物の活用



里いも 1 株からこんなにたくさん収穫できました。

内容

- 通所の障害者と支援者によるしゃべり場・情報交換の場の提供
- 地区の高齢者や障害者と共同で農園芸作業、調理、会食の実施

社会資源の活用

- 会食交流の場として N H K 厚生文化事業団助成により建てられた施設内のコテージを活用

先進性

- 収穫した農産物で簡単なおやつを作り、食べながら交流し楽しむことができる
- 孤立しがちな障害者とひとり暮らしの高齢者の共働によって、地域に開かれて受け入れられるようになる

PR ポイント

- 災害時の障害者避難施設として活用して頂ける
- 調理技能と農作物を活用し、災害時の地域避難所として食事提供できるよう、障害者も生きがいを持って準備している